

恵みによって完全な者へ

(マタイ5・43～48)

一、「あなたの敵」をめくって

43節をご覧ください。主イエスは、

「『あなたの隣人を愛し、あなたの敵を憎め』と言われていたのを、あなたがたは聞いています。』とおっしゃいました。『あなたがた』とは、だれでしょうか。

主イエスの教えを聞いていた「群衆」であり、「弟子たち」でした。では、群衆や弟子たちは、「あなたの隣人を愛しなさい」を聞いて何を思ったのでしょうか。同胞であるイスラエルの隣人を愛するという意味で受け止めました。異邦人(異教徒)までは意識していませんでした。これは仕方のないことです。

では「あなたの敵を憎め」の「敵」は、だれを指すのでしょうか。定義がなされていないので、想像力を働かせることになりませんが、「神の敵」です。

続いて44節を見ますと、主イエスは、身近にいた「敵」を指して語られたことが分かります。へしかし、わたしはあなたがたに言います。自分の敵を愛し、自分を迫害する者のために祈りなさい。』と語られているからです。『自分の敵を愛し(なさい)』と『自分を迫害する者のために祈りなさい』が並行法で語られていると受け止めるなら、「敵」とは「自分を迫害する者」の意味になります。

す。また、「敵を愛する」とは「敵のために祈りなさい」という意味になります。

では、自分の敵を愛し、自分を迫害する者のために祈ることはできるのでしょうか。「できません」と答えるのは、神と人の前に正直な方です。「できませんし、やっています」と答えるのは、パリサイ人、ないしはパリサイ人的なクリスチャンかと思われまます。また、主イエスのところに来た青年は、「私はそれらすべてを守ってきました。何がまだ欠けているのでしょうか」と語りました。こういう方は、まだ自分自身が見えてないのであります。

二、自分が見えていますか？

では、私たちは自分が見えているのでしょうか。45節の2行目をご覧ください。『父は自分の太陽を悪人にも善人にも昇らせ、正しい者にも正しくない者にも雨を降らせてくださるからです。』とあります。しばしば引用される聖句です。皆さまがこの聖句を読んだ時、自分を『悪人』『正しくない者』のグループに入れますか。それとも『善人』『正しい者』のグループに入れるのでしょうか。自分を「正しい者」のグループに入れてしまうのではないのでしょうか。もちろん主イエスを信じた者は救われ、神から「正しい者」と見做されます。ですが、それは神に罪赦されたから

そう言えるのであって、罪から救われている者自身は、正しい者とは思っていないはずで、自分という人間の核になる部分に、善が住んでいないと知っているからです。キリストに支えられ、御霊に導かれなければ、自分の素の姿は神から離れている、すなわち罪の状態にあると、知っているからです。

人は、どうしたら自分の素の姿が見えるようになるのでしょうか。それは神の前に立ち、神の光に照らされた時です。すなわち、主イエス・キリストの前に立った時です。キリストが十字架で死んでくださったのは、正しい人のためだったのでしょうか。ちがいます。罪人のためでした。神から離れている人のためでした(↓ローマ5・6～8)。

神のご正体は、主イエス・キリストにおいて完全に現れました。不敬虔な者たちのために、すなわち罪人のために犠牲になろうと願われたのが、キリストのご性質であり、神のご性質です。それは、生まれながらの私たちが持っているものでもありません。努力して得られる性質のものでもありません。得るとするなり、上からの恵みによってです。

三、恵みによって完全な者へ

神のみこころは、私たちの一人ひとりが、天の父の子どもになることです。その場合の子どもとは、大人と子どもという区分における子どもではなく、

父から財産を受け継ぐことのできる「子」という意味です。先ほど飛ばしました45節1行目をご覧ください。『天におられるあなたがたの父の子どもになるためです。』とは、父から財産を受け継ぐことのできる「子」の意味です。

もう一つのみこころは、成長を遂げて完成した者になることです。48節です。『ですから、あなたがたの天の父が完全であるように、完全でありなさい。』とあります。ここに『完全』(テレイオス)と訳されたことは、エペソ書では次のように使われています。そちらを見ることにより、より意味が見えてくると思われまます。『エペソ4・13 私たちはみな、神の御子に対する信仰と知識において一つとなり、一人の成熟した大人となつて、キリストの満ち満ちた身丈にまで達するので。』とありますが、この聖句における『大人』が、マタイ5章48節の『完全』と同じです。

そういうわけで、主イエス・キリストが語られた意味は、神の恵みによって完全な者になりなさい、です。キリストによらないで完成された人間になることを目指すなら、パリサイ人のようになるではありません。あるいは「私はそれらすべてを守ってきました。何がまだ欠けているのでしょうか」と語った金持ちの青年のように、自分自身が見えない人間になってしまうことではありません。